

2 2 医師確保対策及び地域医療介護総合確保基金について

(財務省、厚生労働省)

【内容】

- (1) 国においては、新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョンに係る報告書を取りまとめるとともに、平成30年度からの新たな専門医制度等医療人材の資質向上に係る環境整備を進めているところであるが、医学部地域枠の在り方に係る検討も含め、医療人材の偏在解消、地域医療確保に向けた施策を強力に推進すること。
また、新たな専門医制度については、医師の地域偏在・診療科偏在の拡大を招くことのないよう、国の責任において、専門医の質の向上と地域医療の確保が両立できる制度とすること。
- (2) 過重労働を強いられる救急医、産科医、小児科医などの病院勤務医の不足を解消するためには、待遇の改善に繋げていけるような診療報酬による適切な評価も必要であることから、引き続き、医師の不足する診療科の診療報酬体系の充実に努めること。
- (3) 医療・介護サービスの提供体制の改革を推進するため地域医療介護総合確保基金について、都道府県が必要とする事業を実施できるよう、十分な財源を確保すること。また、基金の配分について、都道府県の人口規模などを考慮するとともに、年度当初から事業実施できるよう内示時期を早めるなどの見直しを図ること。

(背景)

- 地域や診療科の偏在による医師不足問題が深刻化し、全国的に大きな課題となっている。この医師不足の原因として、平成16年4月から始まった「新医師臨床研修制度」による大学医学部の医師派遣機能の低下、夜間・休日における患者の集中などによる病院勤務医の過重労働、女性医師の増加に伴う出産・育児等による離職、医療に係る紛争の増加に対する懸念といった問題が指摘されている。
- 愛知県の病院勤務医師のうち産婦人科の医師数は、病院勤務医師全体の増加割合に比べ20ポイント以上下回っており、厳しい状況となっている(表1)。また、県内の医師不足のために診療制限をしている病院の調査によれば、産婦人科が18.0%と診療制限をしている割合が最も高くなっている(表2)。
- 医師等の確保に関しては、「新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会」の提言の内容の具体化の検討等を進め、地域における医療が確保されるよう施策を推進していく必要がある。
- また、新たな専門医制度については、地域偏在、診療科偏在を助長し、地域医療の崩壊を引き起こすのではないかと懸念が示され、平成29年度の開始予定が1年延期されたことから、平成30年度の開始に当たっては、地域の関係者の不安を払拭し、国の責任において、専門医の質の向上と地域医療の確保が両立できる制度としていくことが必要である。

- 診療報酬の改定においては、救急部門、周産期部門等において診療報酬の加算などが行われてきているが、引き続き、病院勤務医の待遇改善に効果的な診療報酬体系の充実が求められる。
- 病院勤務医不足等は、医師養成数や臨床研修、診療報酬といった制度が大きく関わっており、制度の設計者である国でなければ解決できない問題が多く、国における抜本的な対策が必要である。
- 団塊の世代が75歳以上となる平成37年に向け、医療・介護サービスの提供体制の改革を推進するため、地域医療介護総合確保基金が、平成26年度から各都道府県に設置され、医療分は平成26年度から、介護分は平成27年度から対象とされている。
- 医療提供体制の改革を進めていくためには、病床の機能分化・連携を推進するための医療機関の施設・設備の整備はもとより、在宅医療の推進、医療従事者の確保は不可欠であるため、平成30年度の事業実施に向け、基金の十分な財源を確保していく必要がある。また、基金（介護分）の介護施設等の整備に関する事業については、第7期介護保険事業（支援）計画に基づき実施するものであるが、平成30年度は3年計画の初年度にあたり多くの整備が見込まれており、計画の適切な実施のためには地域医療介護総合確保基金による支援が不可欠であるため、十分な財源を確保していく必要がある。

（ 参 考 ）

◇ 表1 愛知県の病院勤務医数の推移（全体及び産婦人科）

種 別	平成 12年	14年	16年	18年	20年	22年	24年	26年	12→26 増減比率
病院勤務医数	7,575	7,821	7,932	8,431	8,704	9,129	9,519	9,839	129.9%
産婦人科医	375	343	338	325	333	346	365	404	107.7%

◇ 表2 愛知県における医師不足のために診療制限している病院

主な診療科ごとの状況（診療制限している病院数／診療科標榜病院数）

診療科	平成22年		平成28年	
産婦人科	15	69 (21.7%)	11	61 (18.0%)
小児科	18	133 (13.5%)	11	120 (9.2%)
精神科	13	102 (12.7%)	11	104 (10.6%)
内科	33	287 (11.5%)	32	283 (11.3%)
整形外科	18	205 (8.8%)	18	193 (9.3%)
外科	9	197 (4.6%)	8	178 (4.5%)
麻酔科	4	107 (3.7%)	3	110 (2.7%)